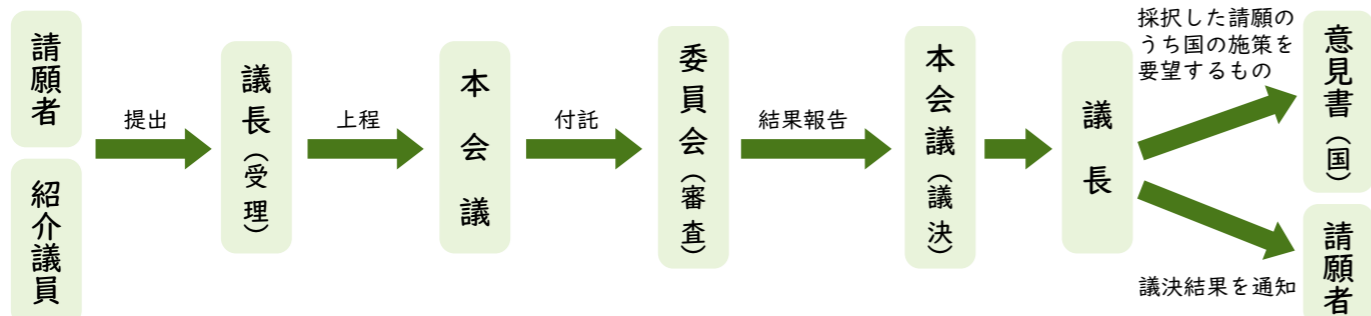


## 3月定例会で請願を採択、意見書を可決



請願第1号「刑事訴訟法における再審規定の改正を求める意見書に関する請願」  
 発委第2号「刑事訴訟法の再審規定の改正を求める意見書」

【請願・意見書の内容の概要】 請願と意見書の最大のポイントは、えん罪被害者を迅速に救済するために、下記の3点において、刑事訴訟法の再審規定の改正を速やかに行うよう求めるものである。

- 1 再審手続きにおける全面的な証拠開示を制度化すること。
- 2 再審開始決定に対する検察官の不服申し立てを禁止すること。
- 3 再審請求人に対する手続保障を中心とする手続き規定を整備すること。

### 総務建設常任委員会審査後の3月19日本会議での討論

#### 賛成討論 意見書の提出に賛成

木村 晴恵 議員

再審規定の不備や課題、問題点が多く多くの団体から指摘されている。その中でも大きな問題は、手続きの長期化により請求人が高齢化し、無罪を勝ち取る前に亡くなるケースが相次いでいることであり、手続きの抜本的改正が求められるこの意見書には賛成する。

河野 照代 議員

現行の再審請求は手続きが肥大化し、えん罪被害者の救済を阻害している。欧米諸国はすべての証拠が閲覧でき、誤判・えん罪への反省から証拠開示など制度改革が進行した。

日本も証拠開示や検察の不服申し立てを禁止するなど再審手続きの保障をするべき。

#### ポイント

刑事訴訟法の再審規定の改正を速やかに行うよう求めることには**全員賛成**だが、意見書の内容で賛成・反対に分かれた。

可決された意見書は国に提出される。



#### 反対討論 趣旨自体には賛成…しかし

板谷 良祐 議員

プライバシー保護、確定判決の安定性への影響、制度の乱用など多面的な課題が指摘されている日弁連案の「全面的な証拠開示」と「不服申し立ての禁止」が言及されている。

専門家でない地方議会が判断することは無責任であり困難である。趣旨には賛同する。

浅原 俊也 議員

当意見書は国の法制審議会が約1年間審議を重ねた法整備に対するものだが、本町議会では、委員会にて1回審議したのみである。

えん罪被害者の速やかな救済といった趣旨には賛同するが、個別具体事項については、説明責任の観点からも慎重審議が必要と判断する。

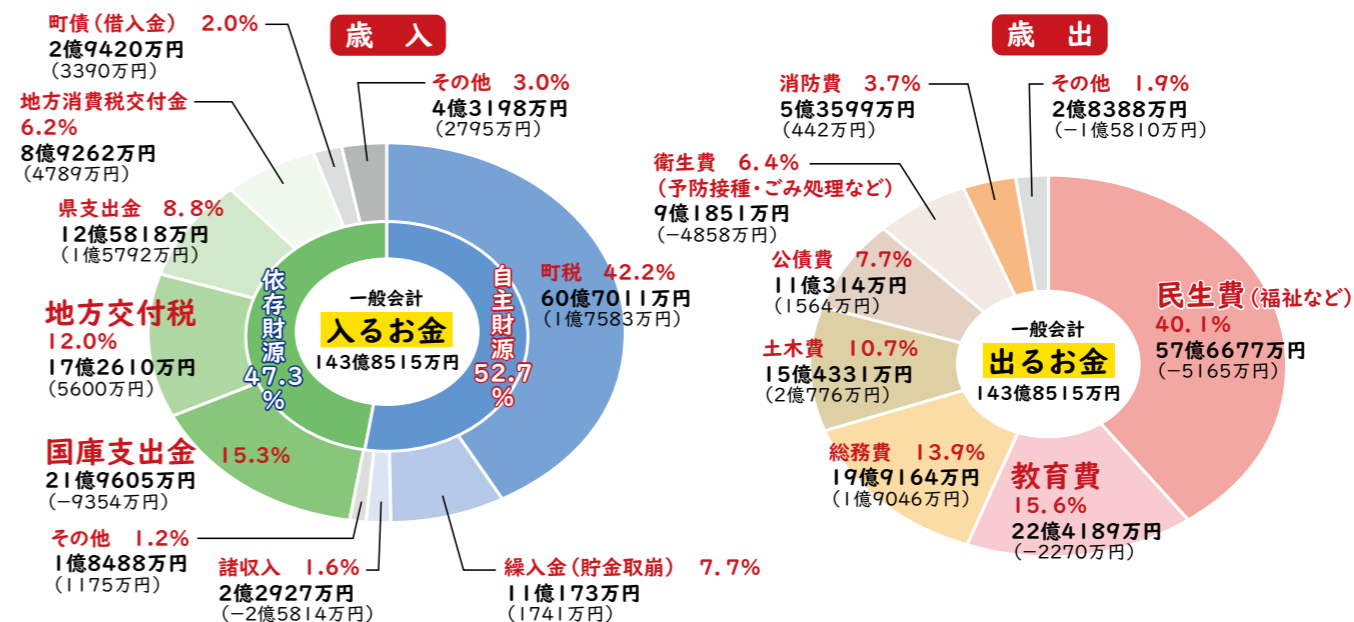
宮宅 良 議員

えん罪被害者の迅速な救済を求める趣旨には大いに賛同します。ただし改正内容は非常に高度であり、専門的な知見に基づき利益以外に生じうる弊害などを含めた多角的な国会論議での英知結集に期待するため、請願者が再審法の改正内容を限定する意見書には反対。

# 令和8年度予算案を可決

## ギカイの視点

令和8年度予算案は、前年度に比べて1.2%増加している。  
 さまざまな要因があるが、適切妥当な配分になっているのかを注視し、12名の委員で予算審査に臨んだ。



#### グラフの見方

上段：科目、総額に占める割合 中段：予算額 下段：対前年度増減

※各項目で1万円未満を切り捨てているため、合計が合わない場合があります。

- 防災** 総合体育館大体育室に空調整備
- 先生** 学校教職員用公用スマートフォン貸与
- 食育** 小中学校の給食費無償化・幼稚園給食開始
- 水泳** 播磨西小の水泳授業の外部委託
- 交通** 新たな交通システムの導入に向けた実証実験開始
- 共助** 個別避難計画作成に補助金
- 環境** 製品プラスチック分別収集に向けた取り組み

